

**NDK** ndis

ちょっと  
待った！

# その「DX」 本当に効果ありますか？

2020/11/18

日本電通株式会社 小片 隆久  
NDIソリューションズ株式会社 西村 美保

# 日本電通株式会社

# 小片 隆久

おがた たかひさ



NOW PRINTING…

2002年入社。その後東京支社、名古屋支店でネットワークSEを担当。2015年より社内ベンチャー・产学連携を実現するアサガオプロジェクトを担当。2016年に技術開発部へ異動。2020年よりDX推進室を担当。

## 技術 開発部

最新技術の研究  
や調査により、  
新規商材などを  
考案・開発する

## アサガオ プロジェクト

社内外・产学の  
垣根を超えた連  
携により新規ビ  
ジネス創出実現

## DX 推進室

自社のDX実現に  
むけ社内調整と  
DXアイデア創出  
を担当

日本企業が  
「DX推進部署」  
を作ると失敗する？

# 日本企業が 「DX推進部署」 を作ると失敗する？

- 原因 1 ミッション定義ミス**
- 原因 2 組織調整ミス**
- 原因 3 ツール選定ミス**

# とあるクレジット会社のDX実施事例

## Mission

自社が保有する  
膨大な顧客の決済  
データを活用せよ

高額なデータ  
解析ツールを  
導入

コンサルタントに  
解析ツールの  
活用を依頼

結果を出せず  
DX推進部署は  
解散



チーム結成



解析開始



解析依頼



チーム解散

社内の  
様々な部署から  
人材が集まる

解析結果の  
活用ができず  
ツール塩漬け

コンサルタントに  
頼むまでもない  
結論が出される

結果を出せず  
DX推進部署は  
解散

# とあるクレジット会社のDX実施事例



# とあるクレジット会社のDX実施事例





**Point**

**1**

**手段が目的に  
ならないために**



**DX**  
**Digital**  
**Transformation**



## DXとは

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して顧客や社会のニーズをもとに製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

経済産業省 2018年12月発表：  
「DX推進ガイドライン」の定義



**DX**  
Digital  
**Transformation**



**自社にとっての  
「DX」とは？**

**DX**  
**Digital**  
**Transformation**



**自社が保有する  
データの活用**



売上を  
〇〇億  
増加させる



社員残業を  
〇〇時間  
減少させる

**DX**  
Digital  
Transformation



既存の取り組みを  
デジタル化することで  
**変革を創出する**

**DXの本質**

**DX**  
Digital  
Transformation



**NDKの「DX」**  
**業務の高速化**

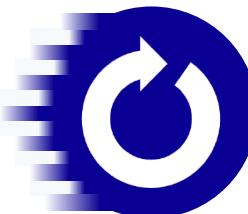
**DX**  
Digital  
Transformation



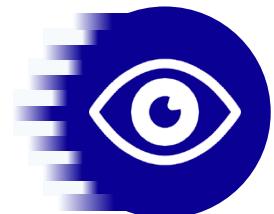
NDKの「DX」

# 業務の高速化

変化へ俊敏に対応できる  
企業文化や体質への変革



高速な  
ビジネスプロセス



高速な  
見える化



高速な  
意思決定・行動

変化に俊敏に対応するには、**高速に**ビジネスプロセスをまわし、**高速に**見える化し、**高速に**意思決定・行動しなくてはならない。

NDKの「DX」

# 業務の高速化



売上・利益  
増加



残業時間  
の低減



新しい  
テクノロジー

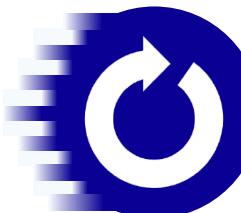
効果

効果

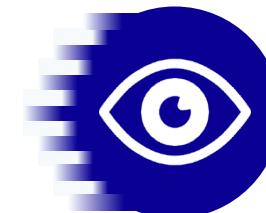
手段



変化へ俊敏に対応できる  
企業文化や体質への変革



高速な  
ビジネスプロセス



高速な  
見える化



高速な  
意思決定・行動

変化に俊敏に対応するには、**高速に**ビジネスプロセスをまわし、**高速に**見える化し、**高速に**意思決定・行動しなくてはならない。



# DX実現

ミッション定義  
自社にとっての  
「DX」



チーム結成



メンバー選定



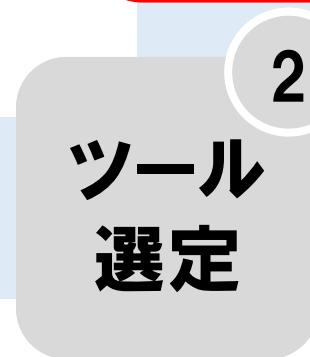
組織  
結成



DB活用



AI導入



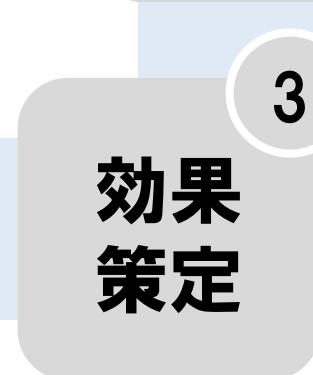
ツール  
選定



売上・利益增加



残業時間低減



効果  
策定

# DX実現

ミッション定義

自社にとっての

「DX」

Point  
**2**

デジタル人材を  
有効に活用するために

# DX組織づくりのルール

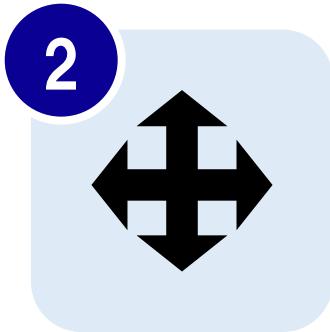


# DX組織づくりのルール



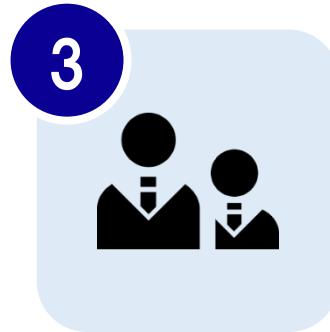
## デジタル人材登用

デジタルを幅広く理解できる人材によりDXを具体化する。



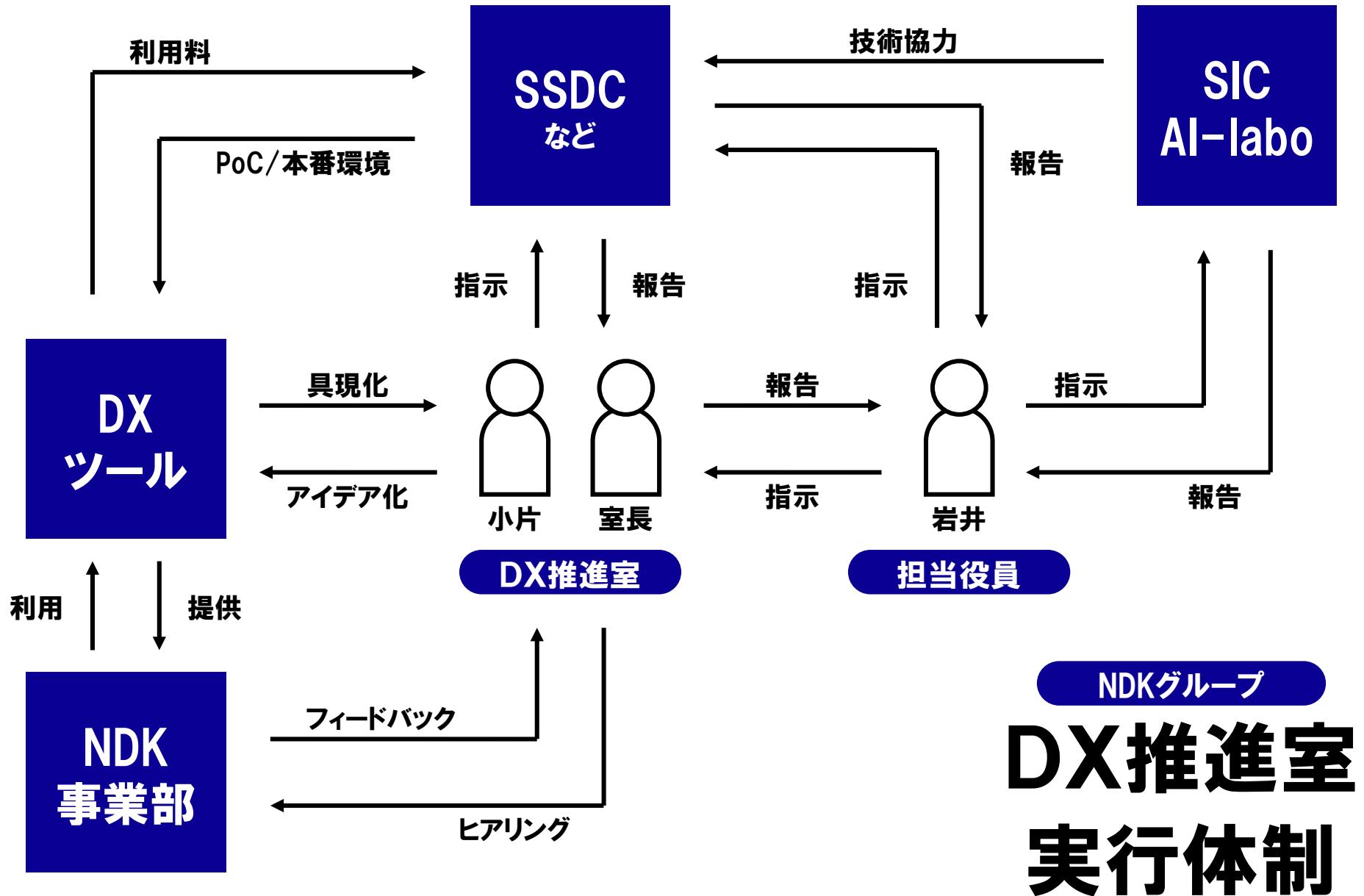
## 組織間を縦横断できる環境

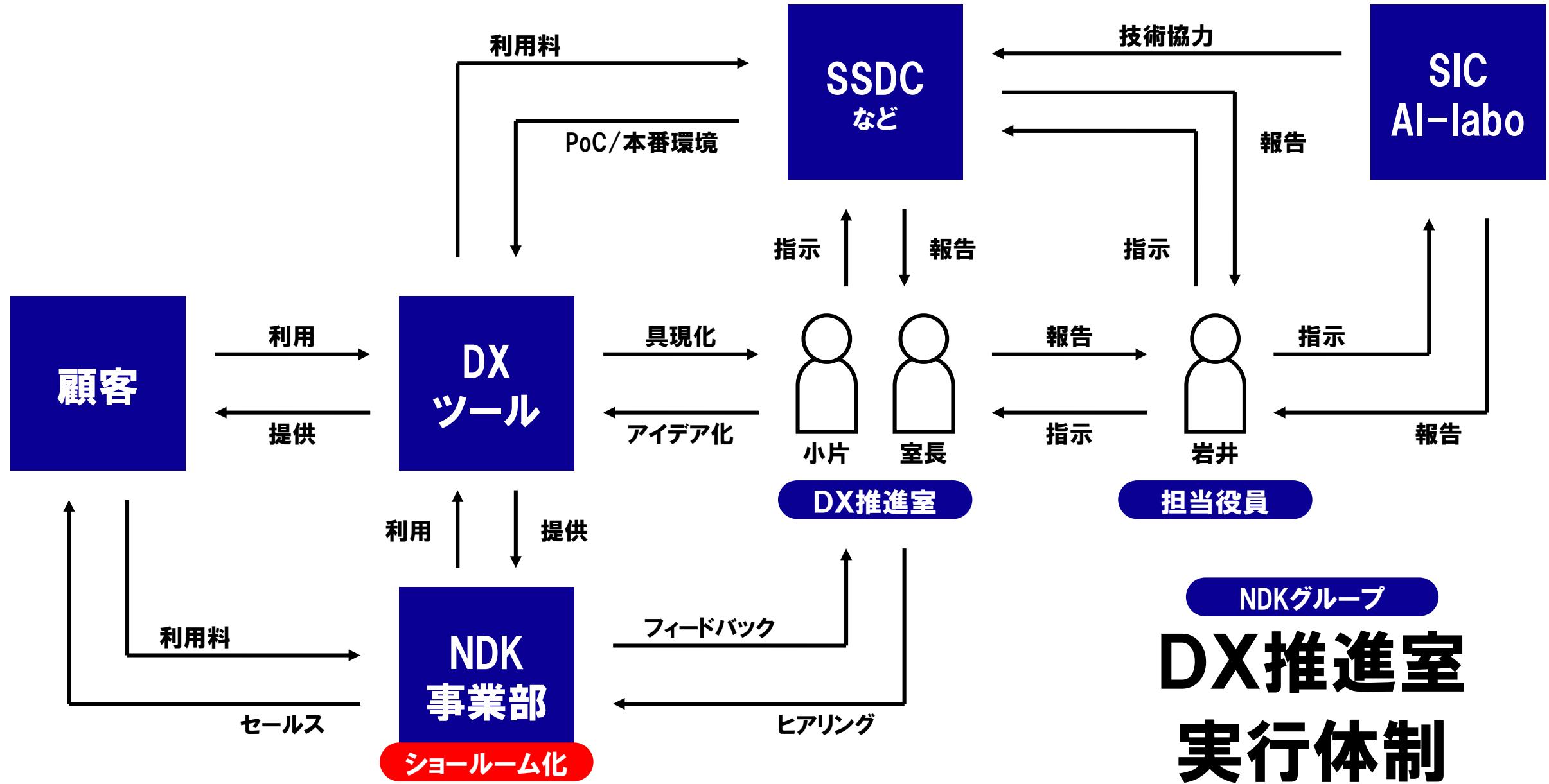
社内のさまざまな組織から協力を得やすくして、DX実行への労力を最小限にする。



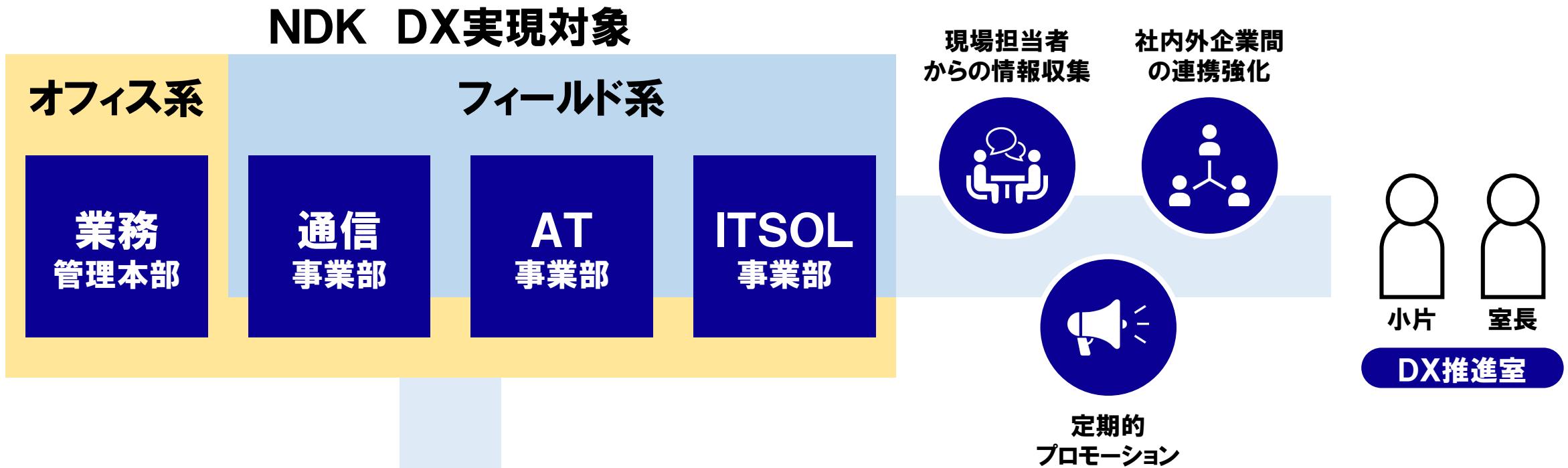
## 社内は少人数制

DX実現に向けた意見の収集・集約速度を向上する。

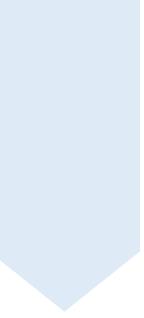




# DX推進室 実行体制



**変化へ俊敏に対応できる  
企业文化や体质実現に向けたシステム**



Point

3

**有効なツールを  
選定するために**

# ツール選定のルール



とりあえず  
AIツール

目的を実現するための  
ツールはAIに限らない。



コンサルに  
おまかせ

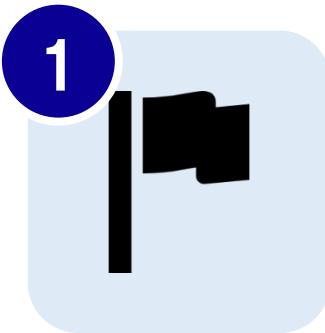
自分たちで運用できない  
ツールはDX実現に遠い。



完成してから  
使う

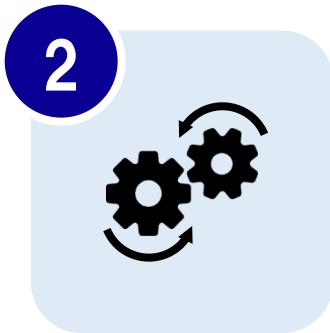
PoCや最小構成から開始  
して実現・運用サイクルが  
描けるツールを採用する。

# ツール選定のルール



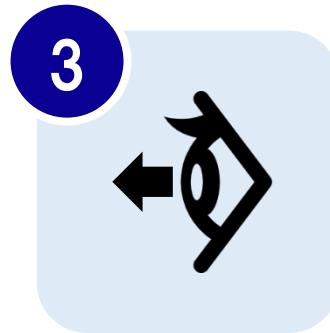
**目的にそった  
技術を選定**

ツールを選ぶのではなく、DX実行目的の実現性を基準として「技術」を選定する。



**自社で運用  
できる**

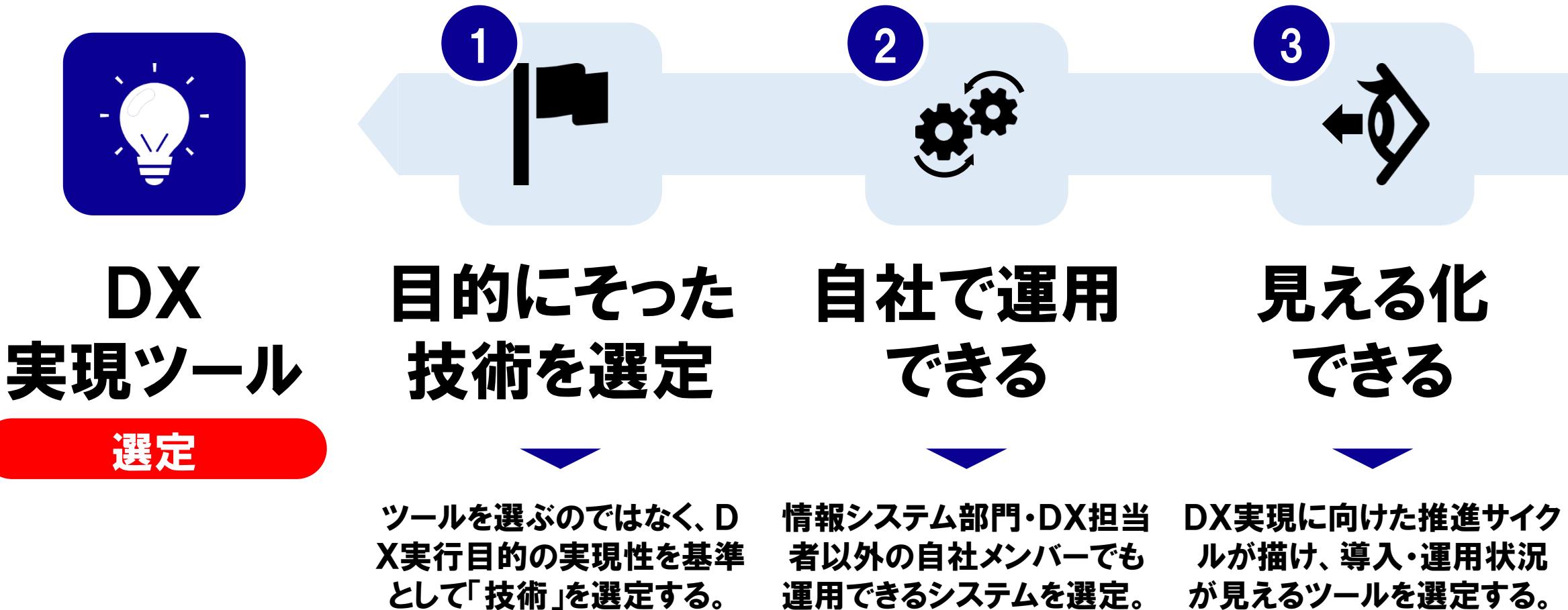
情報システム部門・DX担当者以外の自社メンバーでも運用できるシステムを選定。



**見える化  
できる**

DX実現に向けた推進サイクルが描け、導入・運用状況が見えるツールを選定する。

# ツール選定のルール



## フィールド系

策定  
推進サイクル



ロードマップ  
策定

### ツール選定

### 課題 / 必要技術

nVision  
など

アナログ→デジタル  
変換の自動化

B to B X-point

kintone UiPath

ペーパーレス  
ハンコレス  
キャッシュレス  
手続きレス  
リモートワーク

### ツール選定

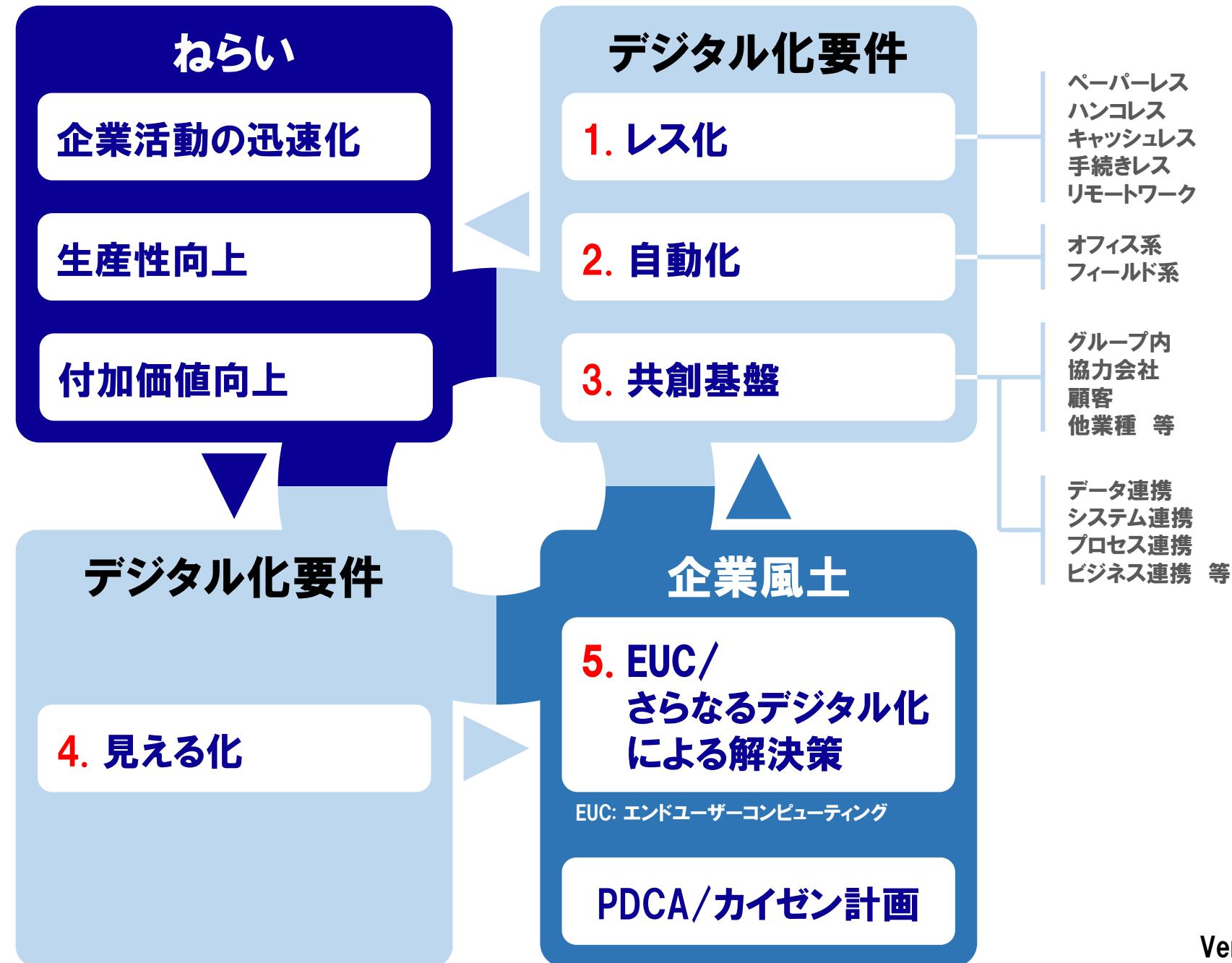
### 課題 / 必要技術

## オフィス系

DX  
実現ツール  
選定



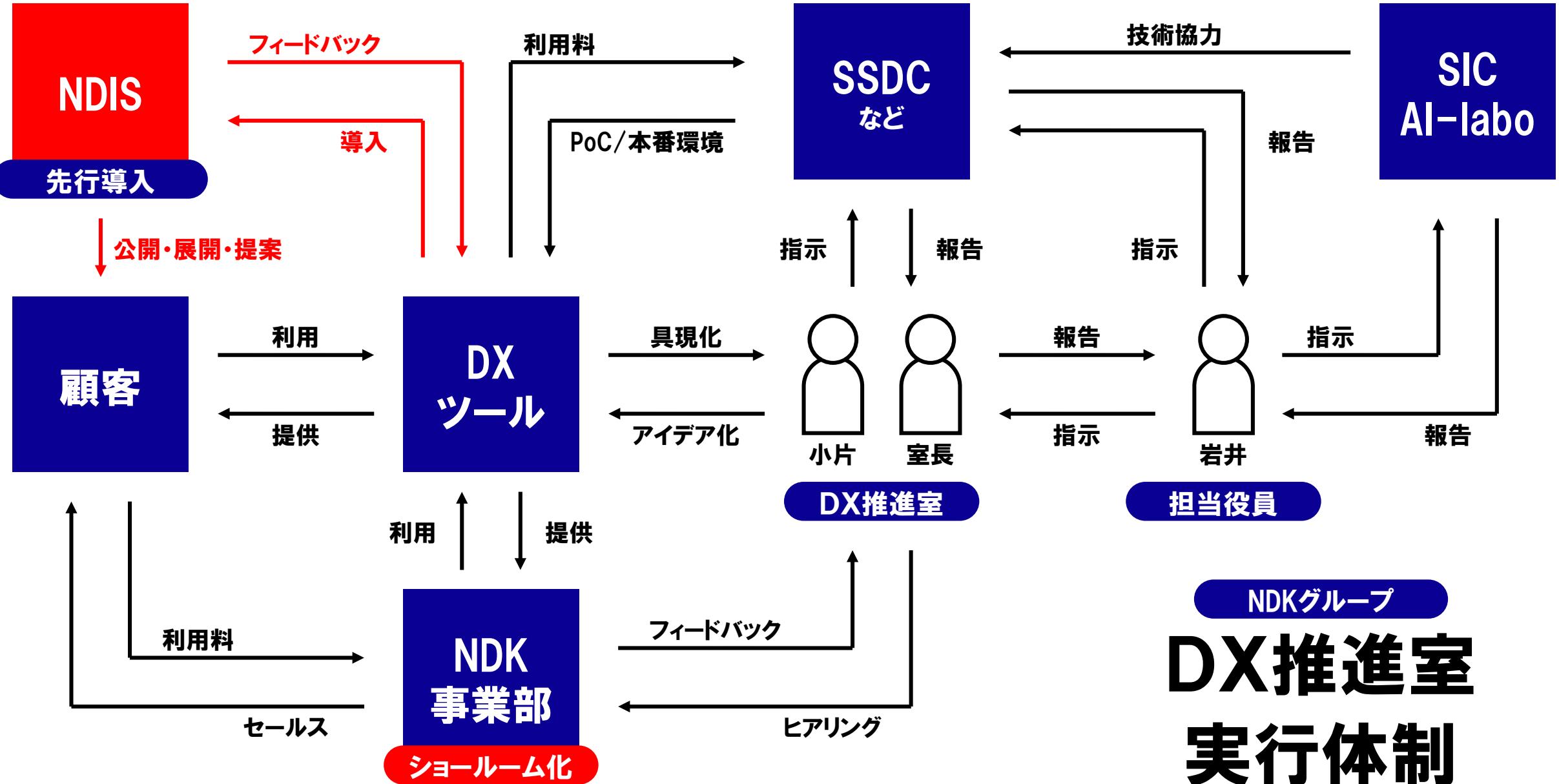
# NDKグループ DX推進 サイクル

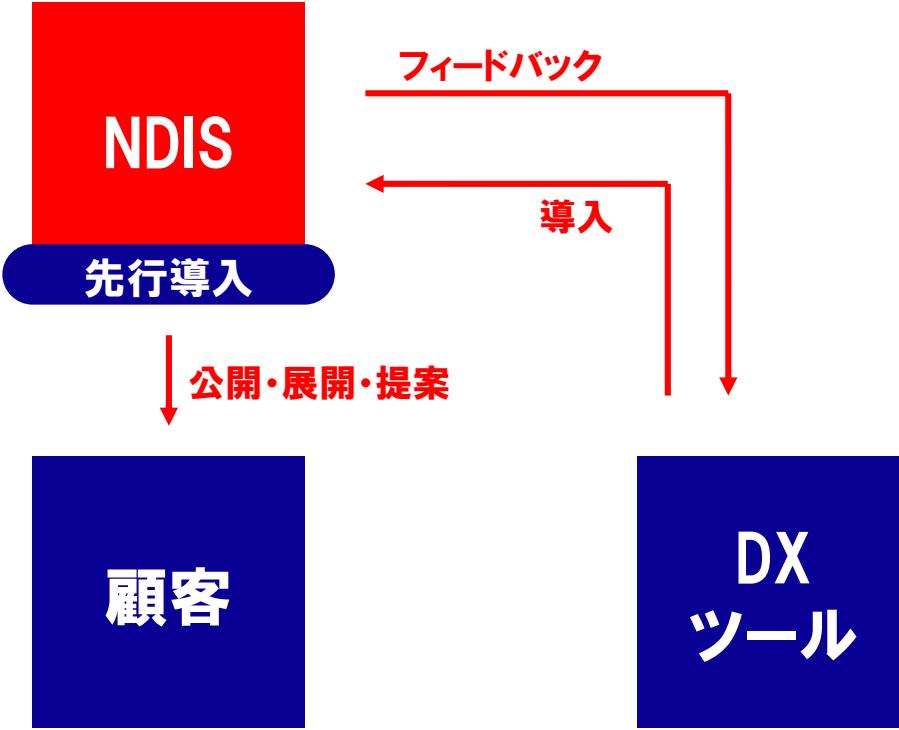


# DX推進ロードマップ(案)

Ver 1.3i

要件	2020年度	2021年度	2022年度
レス化 (リモートワーク)	<p>ペーパーレス ハンコレス キヤッショレス プロセスレス(手続きレス)</p> <p>現行ワークフロー化 (各種諸届等の電子化) X-point</p> <p>現行ワークフロー化 (契約書締結伺い/稟議書) X-point</p> <p>改善ワークフロー化#1 (契約書締結伺い/稟議書) X-point kintone</p> <p>請求書電子化 BtoB</p>	<p>改善ワークフロー化 (各種諸届等の電子化) X-point kintone</p> <p>改善ワークフロー化#2 (契約書締結伺い/稟議書) UiPath</p> <p>契約書電子化 CLOUD SIGN</p> <p>経費精算電子化 Concur</p> <p>資産管理/セキュリティ SKYSEA Client View</p> <p>グループ決算迅速化 (NDK社内) 奉行ERP Group Management-Edition</p>	<p>改善ワークフロー化の適用は荷の拡張 (※Notes廃止、N2改修と連動して実施する) X-point kintone UiPath +@</p> <p>シンクライアント SKYDIV Desktop Client</p> <p>グループ会社へ展開(会計基準統一) 奉行ERP Group Management-Edition</p>
自動化	<p>生産性向上 属人化解消</p> <p>アナログ→デジタル変換の自動化 nVision</p> <p>残量自動測定化 Smart mat nVision</p> <p>写真判定の自動化 nVision</p>	<p>RPA UiPath</p> <p>Notes廃止 X-point kintone Office 365</p> <p>チャットボット CB4(人事・総務) チャットボット CB3(情シス) チャットボット CB3(その他部署)</p> <p>フィールド系 自動化推進 繼続</p>	
分析・見える化	<p>意思決定の迅速化、全体最適化、現場主導のカイゼン気づき</p> <p>現行ワークフロー化の結果</p> <p>業務プロセスの可視化・分析 iGrafx®</p>	<p>ワークフロー化効果検証 #1 改善ワークフロー化の結果</p> <p>ワークフロー化効果検証 #2</p> <p>ワークフロー化効果検証 #3</p> <p>ワークフロー化効果検証 #4</p>	<p>RPA管理 BPA1</p> <p>データ収集 Dr.Sum</p> <p>データ分析(集約・可視化) MOTION BOARD</p>
共創基盤	<p>効率化、付加価値、スピード化、共創</p> <p>グループ会社、取引先、協力会社、顧客、N2とのデータ連携 基盤構築 (EAI)</p>	<p>REST API DataSpider</p>	<p>グループ会社、取引先、協力会社、顧客、N2とのデータ連携 実施(共創)</p>
EUC 人材育成	<p>エンドユーザーコンピューティング、人材育成、デジタルスキル</p>	<p>エンドユーザーコンピューティング推進#1 kintone</p> <p>人事評価/キャリアパスツール(NDK社内) あしたのクラウド</p> <p>スキルマネジメントツール(NDK社内) SAP Successfactors</p>	<p>エンドユーザーコンピューティング推進#2 kintone +@</p> <p>人事評価/キャリアパスツール(グループ会社) あしたのクラウド</p> <p>スキルマネジメントツール(グループ会社) SAP Successfactors</p>





# DXツール 先行導入事例 ご紹介

**ndis**

次スライド以降はNDIソリューション株式会社の  
講演資料になります。

# Customer Conference 2020

変化の一歩先を。  
お客様と共に…



# 西村 美保

Nishimura Miho

NDIソリューションズ株式会社  
BPA推進部

## [社内経歴]

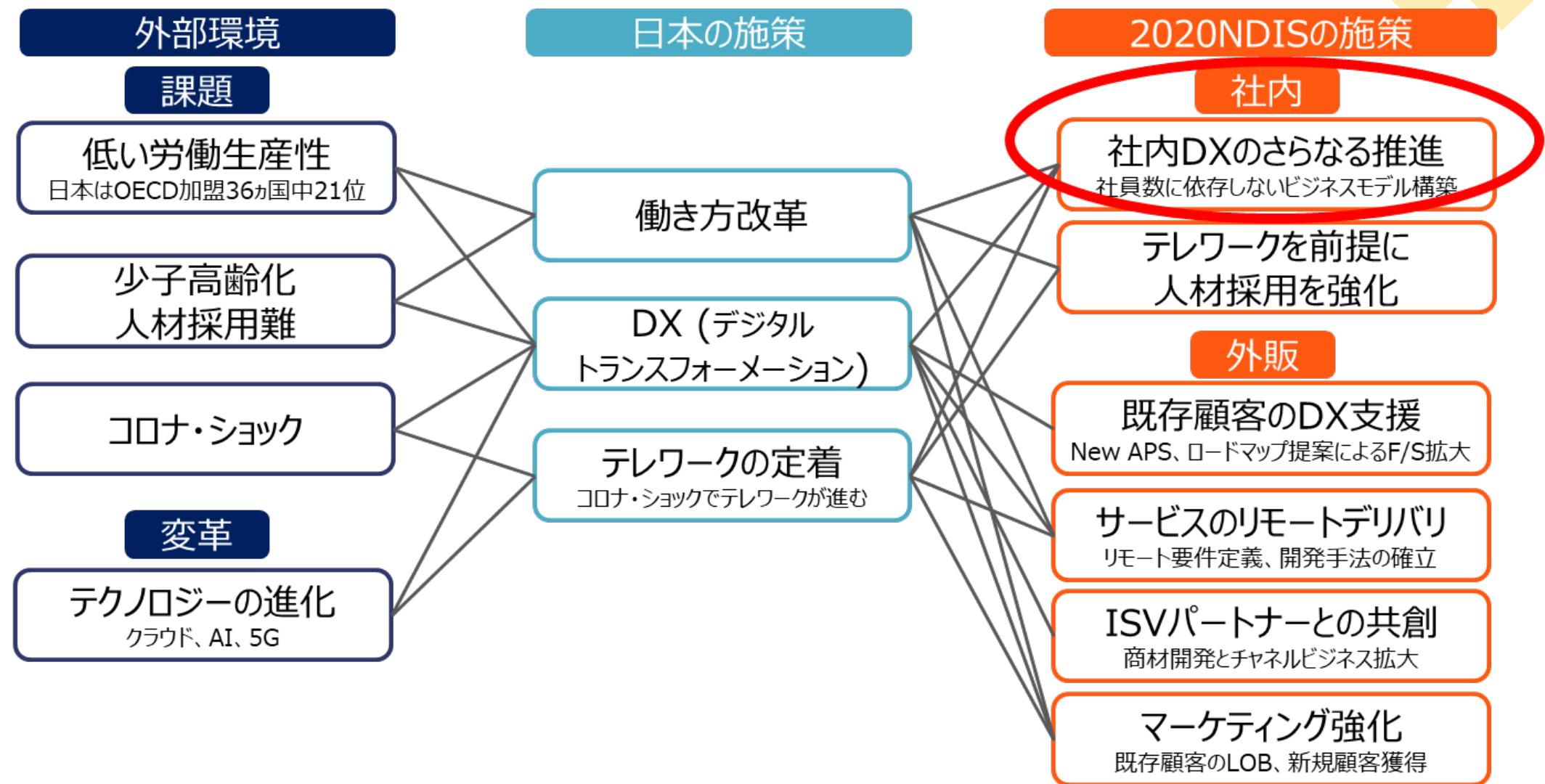
- 2001年入社
- 2001年～2016年 営業事務  
    営業支援とお客様対応を行うことで業務スキルを磨く
- 2017年～ 業務部門リーダー  
    業務改善活動(DX)により社内ショールーム化を目指す

## [DX推進活動]

- 2017年 RPA導入
- 2018年 kintone活用、契約書電子化
- 2019年 teams活用、請求書電子化
- 2020年 テレワーク開始

# 外部環境と当社の取組み方針

働き方改革、DXのさらなる推進に加えて、テレワークを前提とした人材採用、ビジネスプロセス構築を進める



## NDISの「DX」について

### 【背景】

テクノロジーは**変化の主要な原因**

となり、すべてに影響を与える

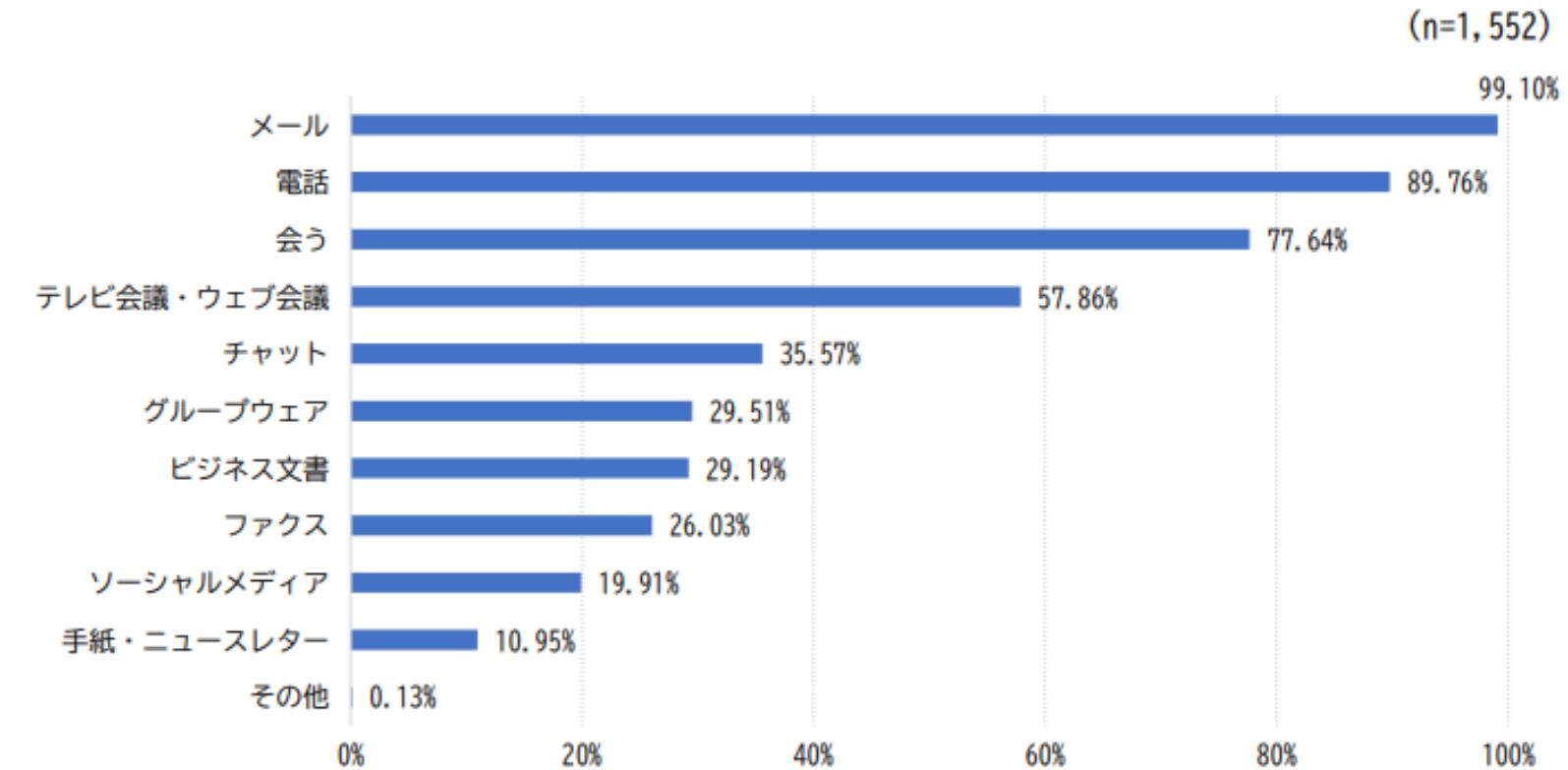
### 【目標】

**「DX」は始まり**であり、テクノロジーを活用し、

俊敏性を持つ組織体へと**常に変革する**

# ビジネスメール 実態調査2020

仕事で使っている主なコミュニケーション手段（複数回答可）



©2020 Japan Businessmail Association.

1日平均

送信：**14.06通** 受信：**50.12通**

メールに対する一番の不安は

**「正しく伝わるか」 76.42%**

自分がした失敗の第1位は

**「添付ファイルの付け忘れ」 54.67%**

メールを受け取り、不快に感じたことがある 41.24%

不快に感じた内容の第1位は

**「質問に答えていない」 45.16%**

メールを読むのにかかる時間は**平均1分19秒**

→**1日66分**メールを読んでいる

メールを書くのにかかる時間は**平均5分54秒**

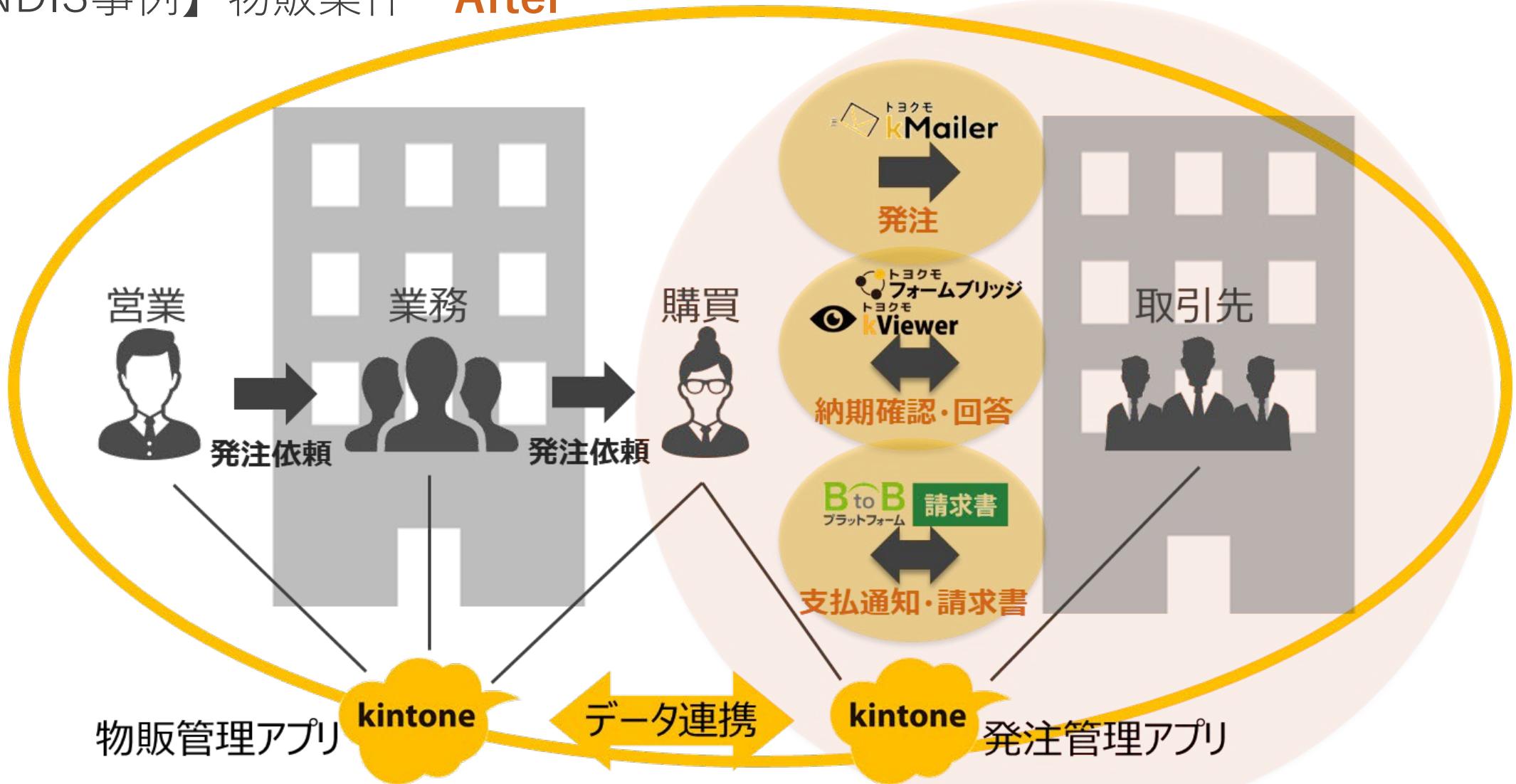
→**1日82分57秒**メールを書いている

1日あたり**約2.5時間**を  
メール対応に費やしている

## 【NDIS事例】物販案件 Before



## 【NDIS事例】物販案件 After



「協業」ではなく「共創」へ

# 共創

## Co-Creation

### 情報連携

kintoneアプリ活用

- ・注文書送付
- ・納期確認・回答連携
- ・支払日連携

### ペーパレス化

非構造化データをデジタル化

- ・BtoBプラットフォーム連携
- 支払通知書
- 電子請求書

### 業務効率化

メール不要

- ・納期確認と回答
- ・入金と支払確認
- ・請求書発行と郵送

## 【参考情報】

### DX企業に税優遇

政府・与党検討 クラウド活用で

日本経済新聞 朝刊

2020年10月20日 2:00 [有料会員限定記事]

政府・与党は2021年度税制改正でデジタルトランスフォーメーション（DX）を進める企業への税制優遇策を検討する。

クラウドサービスを使って他社や部門間でデータをやり取りする企業を対象に、法人税負担を軽減する案が有力だ。

DXに取り組む企業の実施計画を国が認定する案を検討する。経済産業省が21年の通常国会に産業競争力強化法の改正案を提出し、新たな認定制度をつくる。認定を受けた企業が税優遇の対象となる。政府・与党で制度の詳細を詰め、年末にまとめる与党税制改正大綱に盛り込む。

税優遇の対象は企業間や異業種間のデータ共有を進め、新しいサービスを立ち上げたり、業務を効率化したりする企業。データは比較的低成本で運用でき、企業同士や行政機関との連携が容易なクラウドを使うことを想定している。

例えば、DXを活用したサプライチェーン改革に取り組む企業が対象になりそうだ。今は部品や素材をやり取りする企業がそれぞれ完結したシステムを導入していることが多い。

外部とつながるクラウドのシステムを使い、関係企業の生産拠点のデータを統合・分析できれば、拠点間の物流を効率化することができる。生産プロセスを今以上に「見える化」して、改善点を見つける効果も期待できる。

自社内でも部署ごとに異なるシステムを使っている企業も少なくない。マーケティングや営業、開発、物流など部署が縦割りで、ビジネスに有用なデータが共有されていない事例も多い。

政府・与党は2021年度税制改正でデジタルトランスフォーメーション（DX）を進める企業への税制優遇策を検討する。クラウドサービスを使って他社や部門間でデータをやり取りする企業を対象に、法人税負担を軽減する案が有力だ。

DXに取り組む企業の実施計画を国が認定する案を検討する。経済産業省が21年の通常国会に産業競争力強化法の改正案を提出し、新たな認定制度をつくる。認定を受けた企業が税優遇の対象となる。政府・与党で制度の詳細を詰め、年末にまとめる与党税制改正大綱に盛り込む。

税優遇の対象は企業間や異業種間のデータ共有を進め、新しいサービスを立ち上げたり、業務を効率化したりする企業が対象になりそうだ。今は部品や素材をやり取りする企業が対象に取り組む企業が対象になりそうだ。今は部品や素材をやり取りする企業がそれぞれ完結したシステムを導入していること

異なるシステムを使ってたサプライチェーン改革がそれぞれ完結したシステムを導入していること

## DX企業に税優遇 政府・与党検討 クラウド活用で

が多い。

外部とつながるクラウドのシステムを使い、関係企業の生産拠点のデータを統合・分析できれば、拠点間の物流を効率化することができる。生産プロセスを今以上に「見える化」して、改善点を見つける効果も期待できる。

自社内でも部署ごとに異なるシステムを使つている企業も少なくない。マーケティングや営業、開発、物流など部署が縦割りで、ビジネスに有用なデータが共有されている事例も多い。

ご清聴ありがとうございました。